

神奈川山梨教会連合会だより

かりん

藤田寿子先生は、昭和十四年に川崎教会
教会長・藤田三太郎師、アサオ師の三姉妹
の長女としてお生まれになりました。次
女好子師は東京・月島教会に、三女範子師
は京都・近衛教会に、それぞれ嫁がれて御
用されています。

☆三姉妹の長女として、大変な部分があり
ましたか。

寿子先生(以下寿子) 私より、父が大変だ
ったと思います。と言うのも、私が小学
校低学年、三女範子はまだ二歳の頃に、
母の持病が悪化してしまい、亡くなって
しまったのです。

☆それは悲しいことでしたね。

寿子 私達は幼かったので、母のことは私
がかろうじて覚えている程度でしたし、
そんなに悲しいということはありません
でしたが、父は悲しかったと思います。

☆幼かった寿子先生姉妹のお世話は誰がし
てくださったのですか。

寿子 父が御用の合間に、家事をしてくれ
たり、日中はご信者さん達がお手伝い下
さったりしました。また後からは、父方
のおばあちゃんが面倒を見て来てくれま

した。

私達がまだ幼かったですし、教会の御
用もありましたので、父に再婚しては、
という話もあったようです。しかし、父
は再婚することはありませんでした。

☆大変でしたでしょうか。

川でスベって山でコロんで……とってきました

Interview

第18回 藤田寿子先生 (川崎教会)



寿子 教会という所は、

ご存知のように、土日
なんてありません。父
も忙しくしていました
ので、私達子供は家族

でどこかに遊びに行く
ということもありません
でした。

妹達にとってはそれが
寂しかったようで、大
きくなってからは良く

「結婚するならサラリーマンの人がいい、
教会に嫁ぐのはイヤ」と言っていました。

父は、教会のおかげでここまで生かせ
て頂いた。学校に通わせて頂いたのも、
教会でお育て頂いたから、という思
いを持っていましたようです。よく私達に、

「教会に生まれたのだから、神様の御用
を解らなくても、しっかりご祈念させて
頂きなさい。人間だから、いっとうなる
か解らないから、神様にしっかりお参り
しなさい」と話していました。私も、姉
妹ばらばらにならずに育てて頂いたのは、
教会のおかげを頂いてきたからだと思っ
ていましたので、二人の妹には、どこか
の教会に嫁いで、御用して欲しいと、
朝昼晩と願っていました。

その願いが通じたのかどうか分かりま
せんが、あんなに教会に嫁ぐのを嫌がっ
ていた妹達でしたが、二人とも教会へ嫁
いでいき、今は「やっぱり教会にご縁を
頂いて良かった」というようになりまし
た。有り難いことだな、と思います。

☆今後の目標をお聞かせ下さい。

寿子 今日一日をおかけ頂いて有り難く過
ごし、明日も一日元気で病気などしない
で、頑張ってお祈りをさせて頂きたい、と
神様にお願ひしています。どういふ風に
神様に使って頂けるか解りませんが、父
は八十八歳まで生かして頂きましたので、
その位は長生きをさせて頂きたいナ、と
思っております。

有り難うございました。

今年度『教師部』では

今年から、連合会長より指名を受けて、教師部長に私、南清孝がその任に着かせて頂くこととなりました。次長には安達幸則先生(相模原教会長)にお願い致しました。既に三ヶ月が経過しましたが、今後とも皆様のご理解とご協力を頂きながら、活動を推進して参りたいと存じます。

さて、教師部では、今年度の方針を「教会布教の充実活性化に向けて研鑽を進める」「首都圏布教一二〇年の意義について理解を深めると共に、今日求められる信奉者像を明らかにする」と掲げさせて頂き、具体的な活動としては、年四回教師会を開催して、テーマである「教会の充実活性化に向けて現在、教師が問われているもの」について、発題者の話をもとに研鑽をさせて頂きます。

また、今年から三年間かけて連合会内交流教話を実施致します。交流教話の担当を安達先生にお願いしています。

今年度は、首都圏布教一二〇年のお年柄を迎えたことから、統一テーマを「首都圏布教一二〇年の意義を深め、求められる信奉者像を明らかにする」と定めて、教話講師の先生にはテーマに基づく講題を設定して、教話をして頂くことになっています。

そして、交流教話実施に伴いまして、来

る四月一日日かながわ県民センターで『教話研修会』を開催させて頂きます。研修会の講師を藤原務正先生(赤羽教会長)にお願いしております。

講話では、首都圏布教一二〇年を迎えて、改めて首都圏布教(東京布教)とは何か。その布教の歴史を顧みて、一二〇年の意義を明らかにして頂くと共に、信奉者として、今日どのような信心を現し伝えて行くべきなのか、についてお話しさせて頂きます。

この教話研修会は、教話講師の先生方にはテーマについて理解を深めて頂き、講師でない先生方にもご出席頂いて、教話とは何か、今後教話の御用に立つ上での一助となれば、との願いから開催致します。

さらには、教師部のなかに『教師家庭婦人の会』があります。今年から福田明先生(神奈川教会)が担当として、お世話下さることとなりました。企画運営については、全て会にお任せしておりますが、長年開催されて来たこともあって、ここで新たな会の在り方について、検討して頂きたいと思えます。

今年度の教師部の活動について申し述べましたが、先生方のご協力なくしては、活動を推進して行くことはできません。何卒ご理解ご協力を頂きますよう、よろしく、お願い申し上げます。

教師部長 南 清 孝

かりんの輪



連合会活動をふりかえって

神奈川教会 吉 田 章 一 郎

私にとって教会を越えた活動の始まりは、昭和四十五年末から昭和四十九年までに開かれた研信会(村田敏男、横山敏三両師の主導)であった。教会体質改善をテーマとしながらも、二十八歳から三十二歳であった小学生には、信心の中身を鍛えられた会活動であった。その時期の昭和四十八年には、横浜開港記念会館で教祖九十年記念金光教講演会が開かれ、前年から実行委員に加わった。大きなイベントに参画した初めての経験であった。実行委員会解散と同時に、これまでの意識の高揚をつなげるべく、教師・信徒が一体となった「金光教を考える会」が発足し、信心内容はむろんのこと、布教、組織をキーワードにした研究に初めて携わった。金光教を考える会解散後の昭和五十一年から始まった神奈川県東部青年信奉者連絡会議(のちに東部青年連合会)に十年間参画し、青年教師・信徒による熱のこもった議論と青少年の結集するいろいろな企画と行事を実施した。

ちょうどこの時期に発足した「関東青年運動を進める会」にメンバーとして加わった。その後、関東教区の青年布教体制母体作りの気運が高まり、昭和五十八年の青年布教委員

運営委員会報告

去る二月二六日(火)午後一時三〇分から、かながわ県民センターで、今年度第一回運営委員会が開催され、六名が出席した。布教・育成・教師・信徒の各部から、今日までの進捗状況について、それぞれ報告があり、それを受けて協議懇談した。その折、連合会の主たる行事に掲げている「教師信徒一泊研修会」について、信徒部・吉岡氏から左の報告があった。

平成二〇年度「信奉者一泊研修会」

(主催・関東教区信徒会)

いざ・鎌倉！

『話を聴こう 語り合おう』

そして交流を深めよう』

テーマ 「新たな展開を求めて」

元気な心で生きるために

開催日 六月二八日(土) 午後一時から

会場 鎌倉市大船「ホテル・コーヨー」

内容 「講演」講師 今岡 多美江師

(京都・中立売教会在籍教師)

二九日(日) 鎌倉散策

参加費 全日程 一万三千元

講演と懇親会 六千元

講演のみ 一千元

◎詳細は、既に関東教区信徒会から、各教会宛に案内が送付されております。

首都圏布教120年の取り組みとして

東京都教会連合会「会報」より

- ◎記念集会を二〇〇八年七月二〇日(日)大井町駅前「きゅりあん」大ホールにて開催。
- ◎首都圏布教推進プロジェクト(首都圏布教の理念や展開のプログラム等の研究)。
- ◎祈り推進運動の取り組み。
- ◎首都圏布教120年特別教話。
- ◎首都圏布教120年御礼祈願祭(本部)と遥排式(東京)。
- ◎首都圏布教120年団体参拝。
- ◎布教功労者霊神の足跡を記した「あつまの道のいしすゑ」追補の刊行。等が説明がなされた。
- ◎記念集会の内容としては、
 - ①映像で表す首都圏布教120年。
 - ②1千万人への祈り推進運動の祈りの結果。
 - ③作家・小川洋子氏との対談。
 - ④金光大阪高等学校吹奏楽部の演奏。などを予定している。

金光教神奈川山梨教会連合会といえども、信奉者が全員で「首都圏布教一二〇年記念集会」に参加することにしております。

会場への公共機関は、JR京浜東北線・東急大井町線「大井町駅」下車です。

会設立へと動き、その準備に約二年間かかった。これが、現在のACTの前身である。この間一時期、青年会連合本部にもかかわった。一連の活動の中で、県外の多くの青年教師、青年信徒との出会いに広がった。このとき小生は四十歳を越えていた。

昭和六十二年よりは、神奈川県信徒会連合会と関東教区信徒会連合会へと活動が移り、貴重な経験をした。平成十一年からは、教規改正に伴い発足した神奈川山梨教会連合会に参画し、教師・信徒一緒に連合会活動に加わった。さらには、教団全体を視野に入れた御用をせよとのことで、八年前から教団会議員を務めさせて頂いている。不思議なくらい切れ目なく神様からお使い頂いた御用に無我夢中で関わらせて頂き、多くの教師、諸先輩、仲間と出会い、育てられた。

十八歳になって初めて自ら求めて信心を始めてから四十七年、私の信心はどれだけのものになったであろうか。どれだけ神様の願いに沿った御用ができたであろうか。活動することでの信心をしているという気になり、頭だけの信心ではなかったのか。

五年前の定年退職後、さらに神様から教鞭の仕事を受けたが、そこに待ったなしの親の介護が加わり、この半年で生活が一変した。この際、四十七年前の原点に立ち返って自らの信心を問い直し、身についた信心を通して人の助かる働きができるようにと動き始めた今日である。

平成20年 神奈川 山梨教会連合会
天地金乃神大祭日程

教会名	日 程	時 間
津久井	4月19日(土)	13時00分～
小田原	4月20日(日)	14時00分～
横浜西	4月20日(日)	13時30分～
甲 府	4月20日(日)	13時30分～
南 府	4月21日(月)	11時00分～
藤 沢	4月24日(木)	11時00分～
鎌 倉	4月27日(日)	13時30分～
登 戸	4月27日(日)	13時00分～
川 崎	4月29日(祝)	13時00分～
大 明	4月29日(祝)	13時30分～
横 須 賀	5月3日(祝)	13時30分～
子 安	5月3日(祝)	13時30分～
丸 子	5月3日(祝)	13時00分～
相 模 原	5月3日(祝)	14時00分～
生 麦	5月5日(祝)	13時00分～
鶴 見	5月11日(日)	13時00分～
大 磯	5月14日(水)	13時00分～
野 毛	5月17日(土)	13時30分～
平 塚	5月19日(月)	13時00分～
神 奈 川	5月24日(土)	11時30分～
武蔵小杉	5月25日(日)	11時00分～

三教会ゴルフ懇親会

同好の方はお気軽に

将に「春ウララ」おだやかな陽気に恵まれて、神奈川・鶴見・生麦教会信徒有志によるゴルフの集いを三月十一日(火)に、房総半島の丁度真ん中の「上総富士ゴルフクラブ」で開催いたしました。今や、ゴルフは大衆のスポーツ「体の丈夫を願え、体をつくれ、何事も体がもとまり」と教えて頂いている私達は、うらかな春の日差しを受け、大自然に包まれ「君津市大阪富士山」と言う、素晴らしい地名の所にあるゴルフ場で、楽しい一日を過ごしました。今までお付き合いのなかった信徒同士が、これを機会に連合会のこと、金光教のこと、一緒に力を合わせて御用に立ちましようとの誓い合い。

次回は七月頃に開催することを約して、ゴルフの集いを終わりました。参加ご希望の方は、左記までご連絡ください。

次回幹事・石川浩さんの連絡先は、
 ☎・FAX ○四五―三二―四七〇六番
 又は、金光教鶴見教会
 FAX ○四五―五〇二―四八八九番

★お知らせ★

☆地域交流会 野毛教会「鎌倉散策」

日 時 4月29日(祝) 午前10時集合

(17時頃解散予定)

集合場所 「鎌倉駅北口」(江ノ電側)
 持ち物 お弁当、飲み物、敷物
 お申込み 野毛教会

☎045-241-0028

〈な・が・れ〉

『七年目のかりん』

子安教会 村 田 光 治

一歳九か月になる娘は、こちらの問いかけに、大きく頷いたり、首を横に振ったりと上手く応えてくれます。そして、パパ・ママやブ(白湯のこと)、モ(お芋のこと)といった自身のボキャブラリーを駆使して、自分の意志を伝えてくれます。

でも、単語や手振りだけではなかなか周りに分かってもらえず、伝えられないもどかしさに、泣き喚いてしまうことも多くあります。連合会だよりが「かりん」となって今年で七年目。「かりん」は連合会のことをどれだけ伝えられているのかな?いつも心に引っ掛かっている問い掛けです。

発刊当初から編集に関わり、様々な文章に触れてきました。読み易いもの、難しいもの、こだわりのもの……などなど。「かりん」以前からもそうでしたが、それが、連合会だよりの特色なのでしょう。

今号より「かりんの輪」が始まりました。書き手から次の書き手へ、どんな輪が、どんな文章で繋がっていくのか楽しみです。もしあなたの所に依頼が来ましたら、その時はどうぞよろしくお願い致します。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田 光 一

横浜市神奈川区青木町六一二十五

〒221-0057 金光教神奈川教会内